



毎日食べる給食の心に残った献立や食べ物、給食時間の出来事など、思いつくことを作文にして全国の児童が応募し、応募総数1,308作品の中から、最高賞の文部科学大臣賞に見事入賞されましたので、作品をご紹介します。

第8回 公益社団法人

日本給食サービス協会主催

心に残る給食の思い出

作文コンクール

文部科学大臣賞入賞

『給食タイムトラベラー』

府中市立栗生小学校6年1組

橘高 日鞠さん

今からちょうど三年前の夏、私のクラスメイトが転校するという知らせを聞いた。そのクラスメイトは、ゆいとい幼稚園からずっと一緒にの友達。転校と聞いてさみしくなった。

一学期の終業式の日。いつもなら明日から夏休みだと思うと、楽しみだったけど、その友達と最後の日だと思うと、複雑な気持ちになった。お別れ会をして、

その友達と食べる最後の給食。だから、クラス全員で円になり食べようという話になった。その時、

「〇〇ちゃんと日鞠ちゃんは幼稚園から一緒だったんじゃない。だから円の真ん中で、二人で向かい合って食べたらいいと思う。」という声が聞こえた。

一瞬、水を打ったように教室が静まり返った。そして「うん。いいと思う。」

「私もそう思う！」

「僕も賛成！」

と、賛意の声が続いてきた。ただ、うれしかった。そして、友達がそんな風に思ってくれた事が、ありがたかった。

——「いただきます！」

その日の給食は、ナン、ドライカレー、チーズ、サラダだった。あまり登場しない、私の好きなメニュー。その友達と向かい合って食べた給食は、いつもならおいしいはずなのに、うれし

いはずなのに、友達の顔を見ると、胸がしめつけられて、いつものような味ではなかった。それから三年。現在二人とも六年生。時々ナン、ド

ライカレー、チーズ、サラダのメニューは登場している。私はそのたびに、あの日の給食を思い出す。そして、その友達の事も思い出す。私にとって、このメニューの給食は、三年生の時にもどれるタイムトラベルメニューだ。そして、やっぱりこのメニューはおいしい。

私の六年間の給食メニューで、忘れる事のできない、一番の思い出の給食となっている。

その友達と、給食を作って下さっている方々と、クラスみんなに、ありがとう。

府中市学校給食センターでは、栄養バランスのとれた給食をみんなと一緒に食べる事で、心と体の健やかな成長につながることを願って給食を提供しています。みなさんの思い出に残る給食であるとうれしいです。

入賞作品は、市のホームページにも掲載しています。

問い合わせ先

教育政策課

(府中市学校給食センター

内・☎47-6363)

府中市消防出初式

とき 1月9日(日)9時～

ところ 芦田川土生地区「河川ひろば」

消防訓練場(土生町)



問い合わせ先

危機管理室

(☎43-7211)

府中市消防団員、府中市消防署員の行進・式典、一斉放水や府中消防署員による救急救助訓練を行います。

また、広島県防災ヘリコプターが飛来して、救出訓練・飛行展示を実施する予定です。

雨天の場合は、第一中学校体育館で式典のみを行い、一斉放水・救急救助訓練・救出訓練は中止します。

ヘリコプターによる救出訓練による通行止め

ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

とき 1月9日(日)10時40分～11時20分

通行止め区間

▷府中大橋と府中大橋～府中新橋の左岸側および右岸側道路

▷府中大橋～府川新橋の右岸側道路

▷府中大橋～横井新橋の左岸側道路